

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			利用定員に対する指導訓練室スペースを確保した上で、宿題する場所と余暇を過ごす場所をパーテーションで区切る等の工夫をしている
	②	職員の配置数は適切であるか	6			職員の配置数は、適切に対応出来ているが、今後急な欠員等にも柔軟に対応出来るように人員を充実させる
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3		事業所内は段差があまりないようになっているが、トイレは段差がありバリアフリーとは言えない。通所する児童に合わせた事業所設備等を見直し、環境整備を行う
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			始業時、職員全員でのミーティングと振り返りを実施。また、事業所全体の支援体制の質向上に向けて、半年間毎の目標設定を行い、PDCAサイクルを実施
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		令和5年2月、保護者アンケートの意見を職員間で共有し、業務改善に繋げている。令和6年1月のアンケート結果も踏まえ、保護者からの意見を真摯に受け止め、引き続き、改善、改良に取り組む
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2		令和6年2月に放課後等デイサービスLEIFのHPにて公開予定
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	3	相談支援員、保護者等、いつでも療育現場の見学可能な環境はあるが、第三者による外部評価の機会は多くない。R6年2月に廿日市市障害福祉課の職員の見学・視察を実施済。今後、外部評価の環境を構築し、業務改善に繋げていく
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		毎月1回、会社全体の理念研修、LEIF全事業所での研修及び勉強会を実施。昨年度から研修内容をブラッシュアップ、全国16事業所の放課後等デイサービスLEIFの取り組み等を共有、意見交換を通して職員の資質向上に取り組んでいる
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			療育を通して子どもの成長点、課題を日頃から職員で分析・共有。半年に一度、保護者面談を実施。その他、担当者会議等を通じて、保護者のニーズや子どもの課題を共有している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		6		標準化されたアセスメントツールについて、事業所として統一は出来ていない、今後継続してアセスメントツールの使用について検討する
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		メイン担当指導者を中心に活動プログラムを立案、今後、全体での共有頻度を高め、活動プログラムの質を高めていく
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		月に一回の療育内容ミーティングで新しいメニューを作成する時間を取り、活動プログラムをアップデート。また、イベントを通して幅広い活動プログラムを実施。子どもたちの成長支援に繋げている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		平日、休日、長期休暇に応じた目標を設定して支援を実施しているが、各曜日毎の課題設定を更にきめ細やかに設定できるように事前のミーティングで決定して支援していく
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			集団活動を基本としており、コミュニケーション・社会性を育めるように活動プログラムを構築。それに加え、子どもたち一人一人の個別支援計画に基づき、個別の活動や支援も実施している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			毎日、支援前に必ず職員間で打合せを実施、今後も継続して支援内容や職員の役割分担を確認する
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			翌日に前日の支援の振り返りを実施、今後も継続して支援の振り返りを行い職員間での共有を徹底していく

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			経過記録は、当日中に記録することを徹底、継続して支援の検証・改善に繋げていく
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			担当者会議を通して、他事業所での取り組み等の情報共有、個別のモニタリングからの個別支援計画に反映している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	2		ガイドラインの総則を組み合わせさせて支援を実施。自立支援と日常生活の充実の為に集団でのスポーツ療育の実施、また創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供を組み合わせ、総合支援型の基本活動を通して支援を行っている
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			児童発達管理責任者が参加、必要に応じて児童指導員がオブザーバー参加する機会もある
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			学校、保護者と連携を密に対応して連絡調整を行っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	1	医療的ケアが必要な子どもは少ないが、必要に応じて関連施設、相談支援員との連絡体制を整えている
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	2	現年長(2024年4月から新1年生)の契約時において、児童発達支援事業所との情報共有を行っている。今後も必要に応じた情報共有を適時行い、相互理解に努める
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	2	事業所を開所後、卒業生は1名のみであるが、今後の卒業生の増加を見据え、児童発達管理責任者が情報収集を行い、保護者に支援内容等の情報を提供している
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4	1	外部講師を呼んでの専門機関と連携した助言や研修会はないが、廿日市市連絡協議会での研修等には毎回管理者が参加しており、そこの学びや情報については職員間でも共有している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	2	現段階では実施出来ていないが、R6年2月に障害のない子どもと活動する機会を企画し、実施予定
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	3		管理者のみが参加しているが、今後、児童発達管理責任者の参加も検討する
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			日々の療育の見学をオープンにしており、いつでも子どもたちの様子を観て頂ける機会を創っている。活動の様子は連絡帳に記入し、送迎時の当日の様子をお伝えする中で、子どもの成長や課題を常に共有して共通理解を持てるようにしている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1		R5.6月に保護者会を実施。保護者同士で想いを交わす場面を創り、ペアレント・トレーニング等の支援を実施
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		契約前に療育の体験を実施、支援の内容等を実際に観て頂き、ご理解頂き、契約を締結。運営規程、支援内容、利用者負担等について児童発達管理責任(管理者)から個別に説明している
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		保護者から相談された事は、すぐに職員間で共有し、児童発達支援管を中心として必要な助言と支援を実施
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3		親子参加イベントの企画により、保護者同士が交流できる場を設けている

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			開所当初より、苦情に関する対応整備を構築し、契約時に保護者にも周知、苦情や改善要望があった場合は迅速かつ適切に対応していく
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		定期的に会報等は発行出来ていないが、SNSを利用して活動の概要等を発信、行事予定は、事前にプリントを配布、日々の活動の様子は、連絡帳にて保護者と共有している
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6			個人情報の取り扱いに関する研修を実施して知識理解を深め、日々個人情報の取り扱いには配慮している
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			子どもたち、保護者に寄り添いながら意思疎通や情報伝達の為の配慮を行っている
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	3	地域住民を招待するなどの交流企画は出来ていないが、今後地域との交流が出来る企画体験を構築していく
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3		各種マニュアルは策定しているが、保護者周知に関しては共有出来ていない部分もある為、再度全体への周知を行っていく
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			定期的に避難訓練を実施、職員は災害時に備え避難経路の確認をしている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			虐待防止対策として指針を定め、念に一度、虐待防止に関する研修を実施
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			身体拘束指針を定め、重要事項説明書にも記載し、契約時に保護者に説明を実施、また年に一度、身体拘束に関する研修を実施
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		契約時に食物アレルギーの把握を行い、必要に応じて対応している
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ヒヤリハット共有を定期的に行い職員間で共有している